



# 矢巾キャンパスに太陽光発電システムを導入しました！



平成23年2月21日

## ■導入目的

昨今の国際的な地球環境問題への取り組みを踏まえ、大規模な消費電力を必要とする大学施設においては、新エネルギーの導入に積極的取り組み、地球環境に配慮したキャンパスづくりを行うことが重要課題となっています。

このことを踏まえ、本学では総合移転整備計画第二次事業を機に、矢巾キャンパス敷地内に「太陽光発電システム」を導入し、地球環境に優しい新エネルギーシステムの構築と先進的なエコキャンパスづくりを推進します。

## ■設置場所

本学矢巾キャンパスA・B敷地南側

## ■導入規模

A敷地 70kW (230W太陽光パネル308枚)  
B敷地 30kW (230W太陽光パネル132枚) 計100kW

 100kWは県内最大級(県立二戸病院と同規模)です！

## ■発電効果

本システムでは日中常時最大100kWが発電されます。

第二次事業完成後の矢巾キャンパスでは、日中常時最大1,500kW程度の電力が使用されることとなり、本システムにより発電された電力がその一部(約6.6%)としてまかなわれ、二酸化炭素排出量(CO<sub>2</sub>)の削減にもつながります。

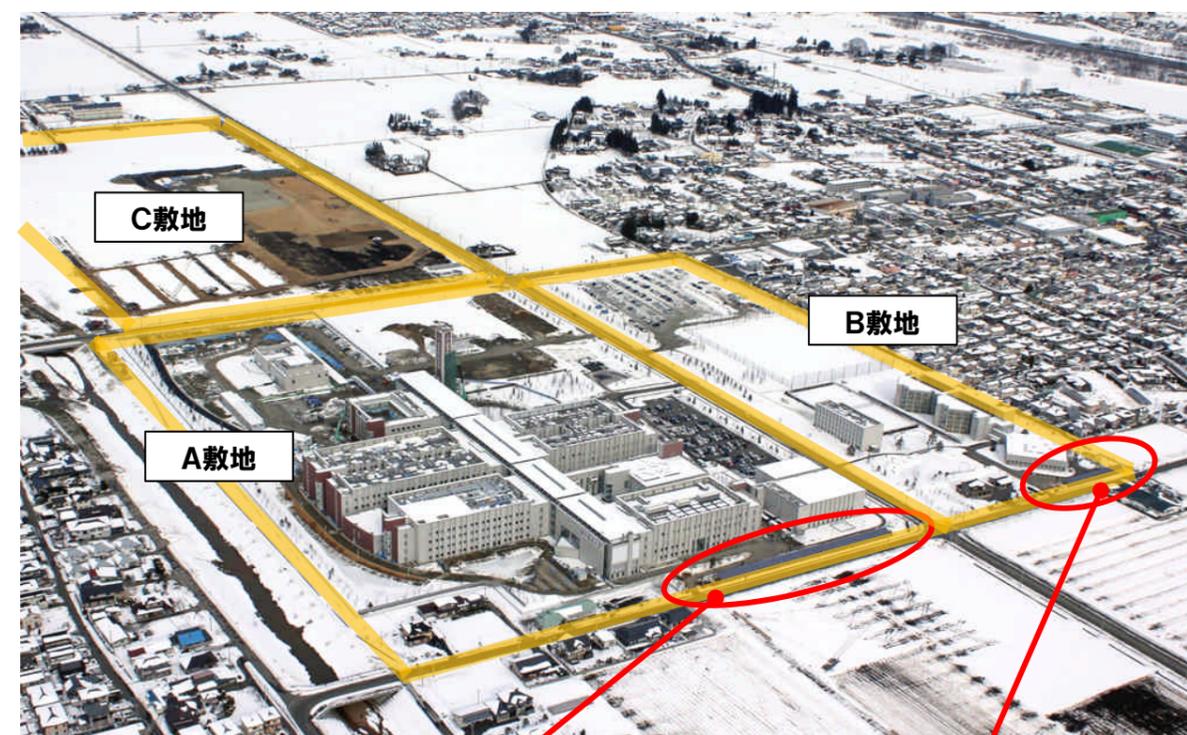
 一般家庭で通常設置される太陽光発電システムは3~4kW程度です。

## ■総事業費

108,200,000円

※本システムの導入に当たっては、新エネルギー導入促進協議会からの一部経費補助を受けて整備を行っております。(協議会HP:<http://www.nepc.or.jp/>)

## ■設置状況



【 A敷地(70kW) 】



【 B敷地(30kW) 】

